

植物多様性センターの「果実と野鳥たち」

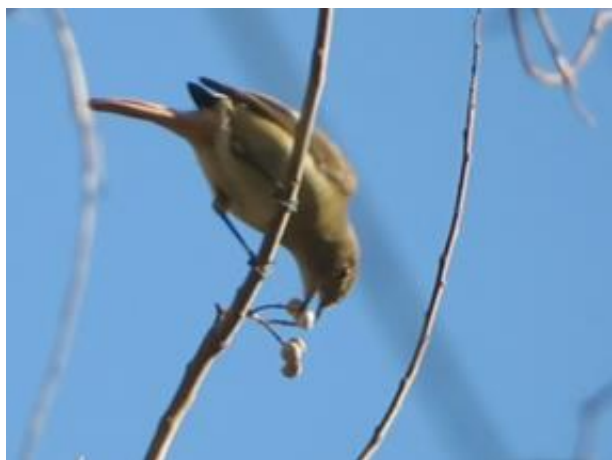
冬は木々の葉っぱがなくなり野鳥観察にはうってつけの季節になります。また、昆虫が少なくなることから植物の果実へ人気が高まります。それぞれの種が様々な果実を食べます。観察していると情報館の裏手にあるナンキンハゼは様々な種に人気なようで、写真のジョウビタキの他にもシジュウカラやキジバト、アオゲラ等がきます。ある研究によると鳥類は果皮の光の反射率によって熟れ具合を目で見て判断して、果実を採餌していると考えられています。



ツルウメモドキ×ヒヨドリ:複数羽できて食べる



ピラカンサ×シロハラ:周囲を警戒しながら食べる



ナンキンハゼ×ジョウビタキ:
木の上部の方で食べる



ムクノキ×ワカケホンセイインコ:
足を使って器用に食べる